

農 村 基 盤 室

農村計画課

基盤整備課

4 農村基盤室

農業農村整備事業総括表

(県営事業)

(単位:千円)

事業名	地区名	平成29年度		平成30年度		採択年度 完了年度	備考 負担区分
		事業費(当初)	事業費(実績)	事業量	事業費		
農山漁村地域整備交付金事業 農業農村基盤整備事業							
1 中山間地域総合整備事業 (一般型)	熊野南部	< 29,000 > 60,000	< 29,000 > 60,000	生産基盤一式 生活環境一式	< 20,000 >	H21 H30	55-30-15
2 中山間地域総合整備事業 (一般型)	熊野北部	< 5,000 > 37,000	< 5,000 > 20,000			H21 H29	55-30-15
3 中山間地域総合整備事業 (一般型)	御浜西部			生産基盤一式 生活環境一式 測量試験一式	< 18,200 > 160,000	H22 H31	55-30-15
4 中山間地域総合整備事業 (一般型)	紀宝中部 2期			生産基盤一式 生活環境一式 測量試験一式	< 22,600 > 90,000	H29 H33	55-30-15
5 中山間地域総合整備事業 (実計型)	熊 野			計画策定一式	18,000	H30 H30	55-30-15
県営計		< 34,000 > 248,000	< 34,000 > 220,400		< 40,800 > 288,000		対前年度当初比 116.1%
(団体営事業)							
農山漁村地域整備交付金事業 農業農村基盤整備事業 6 集落基盤整備事業	御浜南部 2期	< 9,200 > 20,000	< 9,200 > 15,000	農業用排水一式 農業集落道一式 測量試験費一式		H26 H29	50-10-40
	紀宝2期	< 5,000 > 36,000	< 5,000 > 31,000	農道一式、集道一式 農業用排水一式 測量試験費一式		H21 H29	50-10-40
	御浜南部 3期			測量試験費一式	15,000	H29 H34	50-10-40
	熊 野	12,352	12,352		7,312		50-25-25
	御 浜	30,000	30,000		30,000		50-25-25
	紀 宝	21,204	21,204		30,640		50-25-25
8 県単土地基盤整備事業	熊野	5,184	5,184		5,184		0-45-55 0-40-60
	御浜	0	0				
9 農業基盤整備促進事業	御 浜	< 2,300 > 2,000	< 2,300 > 2,000		0		55-0-45
10 多面的機能支払 (農地維持支払・資源向上支払)	熊 野	753	1,029	4地区	1,060		50-25-25
	御 浜	10,060	10,838	3地区	12,494		50-25-25
	紀 宝	3,705	6,212	8地区	6,212		50-25-25
	熊 野	0	399	1地区	396		50-25-25
	御 浜	0	0				50-25-25
	紀 宝	0	0				50-25-25
11 災害復旧事業	熊 野		5,639		3,208		
	御 浜		19,191		16,619		
	紀 宝		12,172		6,139		
団 体 営 計		< 16,500 > 149,258	< 16,500 > 175,570		< 0 > 134,264		対前年度当初比 90.0%
全 計		< 50,500 > 397,258	< 50,500 > 395,970		< 40,800 > 422,264		対前年度当初比 106.3%

※< >前年度からの繰越分を外数

4-1 農村計画課

1 団体営事業

(1) 農山漁村地域整備交付金事業【団体営農村振興総合整備事業】

① 事業概要

基礎的な生活環境の重点的又は補完的な整備が必要な地域、防災の観点から安心して生活できる基盤整備を早急に進める必要がある地域において、農業生産の基盤の整備及びこれと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施する。

② 採択基準

- ・農村振興基本計画（準ずる計画）に則して、実施計画が作成されていること。
- ・実施計画の内容が農村基盤整備としてふさわしいものであること。
- ・活力と個性ある地域づくりを推進するため、又は防災の観点から必要であると見込まれること。

③ 負担区分

工事費 国 50% 県 10% その他 40%
 県事務費 県 100%

④ 地区一覧表

(単位：千円)

地区名	全 体		平成 29 年度まで		平成 29 年度		平成 30 年度		進 捗	着工 完了
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		
紀宝 2 期	農用排施設 270m	431,000	農用排施設 165m	415,900	[5,000] 31,000	[5,000] 31,000			100	H21 ～ H29
	農道整備 1,890m		農道整備 1,077m							
	農業集落道 500m		農業集落道 437m							
	農業集落排水 420m		農業集落排水 406m							
				測量試験費 1 式						
御浜南部 2 期	農用排施設 1 式	285,000	農道整備 308m	239,012	[9,200] 15,000	[9,200] 15,000			100	H26 ～ H29
	農道整備 400m		農業集落道 300m							
	農業集落道 460m									
	農業集排水 120m									
				測量試験 1 式						
御浜南部 3 期	計画策定	610,500	計画策定	3,350	計画策定	3,350	測量試験費		3.0	H29 ～ H34
計	3 地区	1,326,500		658,262		[14,200] 49,350		15,000		

[] は前年度からの繰越で外数

(2) 国土調査事業 (地籍調査)

① 事業概要

国土開発、保全利用の高度化に資すると共に、地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的、総合的に調査します。

② 事業負担

国 50% 県 25% 市町 25%

③ 地区一覧表

市町名	H29 事業費	H30 事業費	進捗状況 (H30.3 時点)		着手年度
	千円	千円	実施済面積 (km ²)	進捗率 (%)	
熊野市	12,352	7,312	3.00	0.88	H11~
御浜町	30,000	30,000	15.63	18.00	H2~
紀宝町	21,204	30,640	5.23	7.14	H15~

2 県営

(1) 農山漁村地域整備交付金事業【県営中山間地域総合整備事業（一般型）】

① 事業目的

農業の生産条件等が不利な地域の実情を踏まえ、農業を中心とした地域の活性化に意欲のある地域を対象として、それぞれの地域の立地条件に沿った農業の展開方向を探り、ほ場整備等において中山間地域の実情に即した整備手法の導入を積極的に推進すること等により農業生産基盤の整備を効率的に行うとともに、農村生活環境基盤等の整備を併せて総合的に行うことにより、農業・農村の活性化を図り、もって地域における定住の促進、国土・環境の保全等に資することを目的とします。

② 採択基準

過疎、山振、離島、半島の各振興法及び特定農山村法のいずれかの指定を受けた数市町で、一体的なつながりを有する複数の集落で構成される地域で、農村振興基本計画等が作成された区域、また、農業生産基盤整備事業の実施にあつては、林野率が50%以上で、かつ、傾斜度1/100以上の農用地の面積が全農用地の50%以上を占める地域において、2工種以上の生産基盤整備事業を実施し、その受益地がおおむね60ha以上であるもの。

③ 負担区分

工事費 国 55% 県 30% 地元 15%
事務費 県 100%

(単位：千円)

地区名 (市町名)	全 体		平成 29 年度まで		平成 29 年度		平成 30 年度		進 捗	着工 完了
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		
御浜 西部 (御浜町)	軽軌道 農用排 2.46km 農道 2.62km ほ場整備 2.7ha 農地防災 1ヶ所 軽軌道 集道 1.17km 農集排 0.72km 農集防災 1ヶ所	1,039,000	農用排 1.53km 農道 1.66km ほ場整備 2.4ha 集道 0.68km 農集排 0.60km 測量設計 1式 用地買収 補償 1式	745,551	農道 0.86km 農集排 0.12km 測量設計 1式 用地買収 補償 1式	136,000	農道 0.22km 農地防災 1ヶ所 集道 [0.15km] 0.26km 農集排 0.12km 測量設計 1式 用地買収 補償 1式	[18,200] 160,000	87.2	H22 ~ H31
熊野 (熊野市)	実施計画	18,000					事業計画策 定	18,000	100	H30
2地区 計		1,057,000		745,551		136,000		[18,200] 178,000	%	

[] は前年度からの繰越で外数

4-2 基盤整備課

平成30年度事業総括表

県営事業

事業名	平成29年度実績		平成30年度当初		地区名 (平成29年度)
	地区数	事業費	地区数	事業費	
農山漁村地域整備交付金事業 県営中山間地域総合整備 事業（一般型）	1	千円 [29,000] 60,000	1	千円 20,000	熊野南部地区
農山漁村地域整備交付金事業 県営中山間地域総合整備 事業（一般型）	1	千円 4,400	1	千円 [22,600] 90,000	紀宝中部2期地区
農山漁村地域整備交付金事業 県営中山間地域総合整備 事業（一般型）	1	千円 [5,000] 20,000		千円	熊野北部地区
農山漁村地域整備交付金事業 県営中山間地域総合整備 事業（一般型）	1	千円 136,000	1	千円 [18,200] 160,000	御浜西部地区
農山漁村地域整備交付金事業 畑地帯総合農地整備事業 農地整備事業（畑地帯 担い手支援型）	1	千円 [6,000]		千円	金山南部地区
計	5	千円 [40,000] 220,400	3	千円 [40,800] 270,000	

[] は前年度からの繰越で外数

(1) 農山漁村地域整備交付金事業【県営中山間地域総合整備事業（一般型）】

① 事業目的

農業の生産条件等が不利な地域の実情を踏まえ、農業を中心とした地域の活性化に意欲のある地域を対象として、それぞれの地域の立地条件に沿った農業の展開方向を探り、ほ場整備等において中山間地域の実情に即した整備手法の導入を積極的に推進すること等により農業生産基盤の整備を効率的に行うとともに、農村生活環境基盤等の整備を併せて総合的に行うことにより、農業・農村の活性化を図り、もって地域における定住の促進、国土・環境の保全等に資することを目的とします。

② 採択基準

過疎、山振、離島、半島の各振興法及び特定農山村法のいずれかの指定を受けた数市町で、一体的なつながりを有する複数の集落で構成される地域で、農村振興基本計画等が作成された区域、また、農業生産基盤整備事業の実施にあつては、林野率が50%以上で、かつ、傾斜度1/100以上の農用地の面積が全農用地の50%以上を占める地域において、2工種以上の生産基盤整備事業を実施し、その受益地がおおむね60ha以上であるもの。

③ 負担区分

工事費 国 55% 県 30% 地元 15%
 事務費 県100%

(単位:千円)

地区名 市町	全 体		平成29年度まで		平成29年度		平成30年度		進 捗	着工 完了
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		
熊野 南部 [熊野市]	生産基盤整備									
	農用排 2.15km		農用排 1.18km		農用排 0.14km		農用排 0.32km			
	農道 1.86km		農道 2.19km		農道 0.56km					
	農地防災 2ヶ所	1,027,000	農地防災 2ヶ所	982,442	集道 0.25km	[29,000] 60,000		20,000	%	H21 ~
	農地保全 1.06km		農地保全 0.87km		測量設計 1式		測量設計 1式			H30
	生活環境整備		集道 0.64km		用地買収 補償 1式		用地買収 補償 1式			
	集道 0.61km		農集排 0.12km							
	農集排 0.12km		測量設計 1式							

[]は前年度からの繰越で外数

(単位：千円)

地区名 市町	全 体		平成29年度まで		平成29年度		平成30年度		進 捗	着工 完了
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		
紀宝 中部 2期 [紀宝町]	生産基盤整備 農用排 1.68km 農道 0.11km 農地防災 2ヶ所 生活環境整備 集道 1.08km 営農飲雑 1ヶ所	1,250,000	測量設計 1式	4,400	測量設計 1式	[-] 4,400	農道 0.1km 測量設計 1式	[22,600] 90,000	% 9.4	H29 ~ H33
熊野 北部 [熊野市]	生産基盤整備 農用排 4.88km 農道 0.03km 農地保全 1.0ha 生活環境整備 交流施設 1ヶ所 集道 0.07km	528,706	農用排 4.42km 農道 0.04km 農地保全 0.8ha 交流施設 1式 集道 0.07km 測量設計 1式	508,706	農用排 [0.08km] 0.60km 農地保全 0.3ha 測量設計 [1式] 1式	[5,000] 20,000			% 100	H22 ~ H29
3地区 計		2,805,706		1,495,548		[34,000] 84,400		[22,600] 110,000	% 58.0	

[]は前年度からの繰越で外数

(2) 農山漁村地域整備交付金事業【畑地帯総合農地整備事業「農地整備事業（畑地帯担
い手支援型）】

① 事業目的

畑地帯における担い手の育成・強化を図るため、多様な営農形態にきめ細かく応
じつつ、生産基盤の整備及び生産・集落環境整備を総合的に行い、もって畑作の生
産の振興及び畑作経営の改善・安定を図るものです。

② 採択基準

- ・受益面積 30ha 以上
- ・担い手を支援するための整備計画が定められている
- ・担い手農家数又は経営面積 10%かつ 3 戸以上の担い手が存在すること

③ 負担区分

工事費	国	50.0%	県	27.5%	その他	22.5%
事務費			県	100.0%		

④ 金山南部地区の概要

東紀州地域の地域産業活性化を推進するため、当地域の特色を活かした地域産業
の振興として、基幹産業である柑橘産地の目指す、「自らが守る産地」、「後継者
が育つ園地づくり」、「攻めの品種構成」の 3 つを実現するため、園地の用排水施
設と農道の整備を実施することにより、らくらく省力栽培で、高品質みかんの生産
を可能にし、生産性の向上と農業経営の安定を図り、農業の担い手の確保、農家自
らが守る果樹産地、後継者が育つ園地作りを推進します。

受益面積 A = 32.7 ha

事業量

畑かん工	貯水池工	一式	排水路工	排水路工	L=4.6km
	揚水機工	一式		排水施設工	一式
	用水施設工	一式	農道工	農道整備工	L=9.4km
農作業準備休憩施設		一式			

(単位：千円)

地区名 備	全 体		平成29年度まで		平成29年度		進 捗	着工 完了
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費		
金山 南部 [熊野市] [御浜町]	貯水池工 1式 揚水機工 1式 用水施設工 1式 排水路工 L=4.6km 農道整備 L=0.4m 等	943,000	貯水池工 1式 揚水機工 1式 用水施設工 1式 排水路工 L=4.5km 農道整備 L=0.2km 測量設計 1式 用地補償 1式	943,000		[6,000]	100	H19 ~ H29
1地区 計		943,000		943,000		[6,000]	100	%

[]は前年度からの繰越で外数